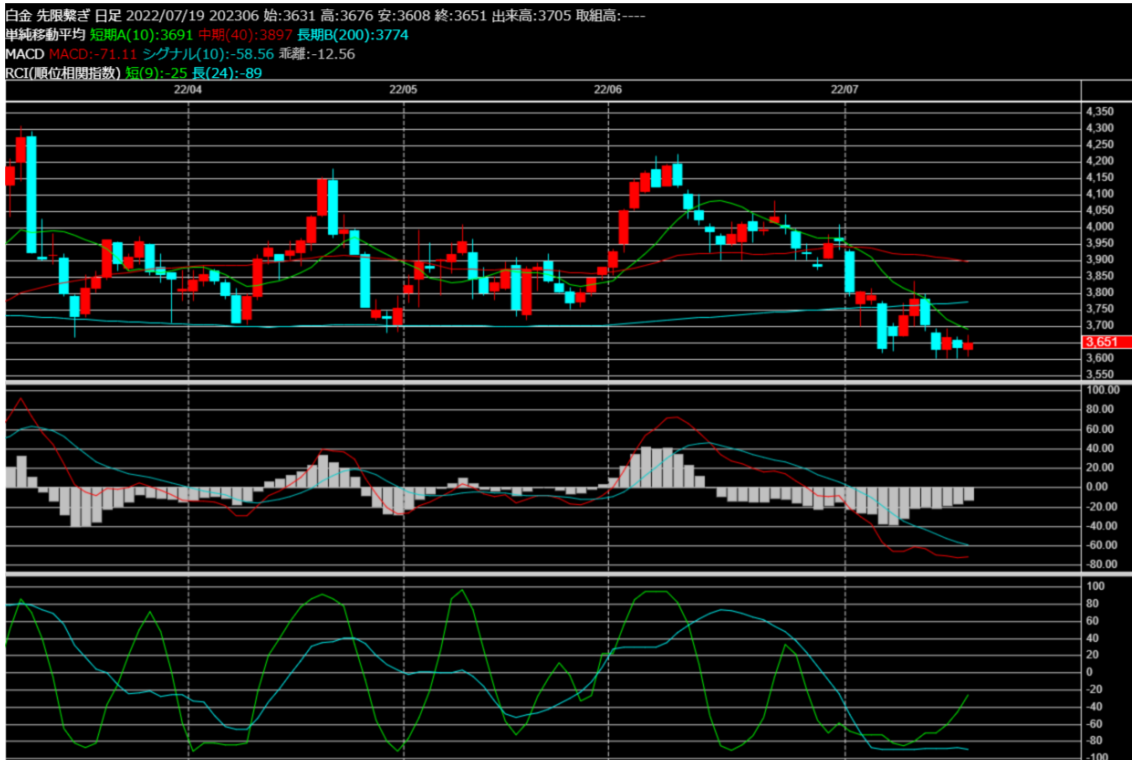


<白金標準先物、21日のECB理事会とガスプロムの供給再開が鍵・・・>



(出所：オアシス)

米国消費者物価指数が前年同月比で9.1%と41年ぶりに高い数値を示したことから、27日に開催されるFOMCでは過度なインフレ抑制から1%の利上げも考慮する動きを見せている。しかし欧州は、ロシア産エネルギー依然度が高く、ドイツに天然ガス供給を行っている「ノルドストリーム1」が2週間近く保守点検で供給停止の状態である。そのためガスプロムの21日の保守点検終了時に天然ガス供給が実施されるか懸念が高まっており、景気減速懸念の高まりを受けてユーロはドルに対して2002年以来のパリティを超えるユーロ安を示している。また中国の第2四半期GDPは、ゼロコロナ政策の悪影響を受けて習近平主席が目標と掲げる5.5%を大きく下回る0.4%となるなど、中国の景気減速が鮮明になっている。そのため白金需要における自動車触媒需要の4割を占める欧州市場の景気減速と、宝飾需要の25%を占める中国の景気減速の動きが重なり、白金標準先物は今年1月以来の3602円まで下値を模索している。そのため21日にECB理事会の開催で0.25%の利上げ実施が行われ、ガスプロムが「ノルドストリーム1」の再稼働を確認すると、ユーロの巻き戻しを受け、下落の始まりである3838円へ回帰する値動きに期待感が高まると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが下げ止まり、シグナルは下げており、転換を示すクロスが発生に近付いている。RCIでも短期が上昇し、長期は下げ止まった状態で推移しており、日足が下げている10日移動平均線(3691円)を上回る動きを示す事が出来るとオシレーターは強気に転換する動きを示すと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,488,000 円(2022 年 7 月 19 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 7 月 19 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>